

訪問日	アドバイザー氏名		シニア活躍推進宣言企業認定申込の有無 (「○」「×」のいずれかを記入する)	
企業等名				
住所	〒	住所		
電話番号			FAX番号	
メールアドレス	HP URL			
代表者(職・氏名)	職名	氏名		
応対者(職・氏名)	職名	氏名		
従業員数		正規雇用	非正規雇用	計
	総数			0
	60～64歳			0
	65～69歳			0
	70歳以上			0
	60歳以上合計	0	0	0
業種区分・事業内容	業種	事業内容		

←ここは最終的な希望の有無を記載

埼玉県HPからのリンクを希望する

過去3年間、労働基準法や高齢者等の雇用の安定等に関する法律等の関係法令に違反していないことを口頭確認した

シニアの活躍の場を拡大するための取組の状況【シニア活躍推進宣言 取組事項】				
1 シニアの定年や継続雇用の制度を見直す	実施済み	実施予定	実施予定時期	具体的取組内容
(1) 定年・継続雇用の年齢を延長、定年を廃止する				<b>就業規則の作成</b> 施行日 令和 年 月 日 <b>就業規則労働書への提出</b> 提出日 令和 年 月 日 (具体的な年齢を記入) <b>※該当の可否に関わらず、実行欄を必ず記入すること。</b> 現行 歳 → 延長後 歳 現行 歳 → 延長後 歳 現行 歳 → 延長後 歳 ①就業規則に「定年廃止」が明記されている ②就業規則に「定年廃止」について記載がない ア 定年がないことについて社内で合意されている イ 定年について決めていない
・定年を延長する(66歳以上) ・継続雇用の年齢上限を延長する(66歳以上) ・定年を廃止する ※1-(1)は就業規則又は雇用契約書・労働通知書等書面で確認できる場合のみ実施済みができる	希望者全員 基準該当者のみ			就業規則の確認 <input type="checkbox"/> 就業規則(10人未満の労働者の改正を要しない場合その他書面の確認 就業規則の確認 <input type="checkbox"/> 就業規則(10人未満の労働者の改正を要しない場合その他書面の確認 就業規則の確認 <input type="checkbox"/> 就業規則(10人未満の労働者の改正を要しない場合その他書面の確認 就業規則の確認 <input type="checkbox"/> 就業規則(10人未満の労働者の改正を要しない場合その他書面の確認
(2) 継続雇用や賞金の基準を明確化する				(左の例を参考に具体的な取組を記入)
例 ・定年や任期満了後に継続雇用する基準を明確化する ※定年65歳以上、希望者全員の継続雇用66歳以上の場合該当				就業規則の確認 <input type="checkbox"/> 就業規則(10人未満の労働者の改正を要しない場合その他書面の確認
2 シニアの雇用、働く場所・機会を増やす	実施済み	実施予定	実施予定時期	具体的取組内容
(1) シニア向けの仕事を新たに作る				(左の例を参考に具体的な取組を記入)
例 ・特殊なスキルや熟練を要する業務を切り出し、シニアが従事する ・無資格、未経験等でも可能な業務を切り出し、シニアが従事する ・人材が不足しがちな早朝・夜間・土日等の勤務をシニア勤務枠とする				
(2) シニア限定の求人募集により新たにシニアを雇用する				採用枠 人 (具体的な取組を記入)
例 (60歳以上の雇用が確認できる場合に限る。)				
(3) シニアの働きやすい事業分野へ進出する				(左の例を参考に具体的な取組を記入)
例 シニアが継続就労することが可能となる新たな事業を展開する				
3 シニアが安心して働ける環境を整える	実施済み	実施予定	実施予定時期	具体的取組内容
(1) シニアの特性に配慮した勤務形態を導入する				(左の例を参考に具体的な取組を記入)
例 ・週3日勤務や1日5時間勤務など、シニアを対象とした短時間勤務制度を導入する (正規雇用のみ対象。短時間勤務が前提の非正規雇用(パート)は対象外。)				
(2) シニアの特性に配慮したシフトの導入、部署配置を行う				(左の例を参考に具体的な取組を記入)
例 ・シニアを対象とした負担の少ない勤務シフトを実施する ・本人の適性を踏まえ負担の少ない部署に配置転換する				
(3) シニアの負担を軽減する機械設備の導入・改善、作業方法、作業環境の改善等を行う				(左の例を参考に具体的な取組を記入)
例 ・シニアの負担を軽減する機械設備を導入する ・シニアが働きやすくなるよう作業方法を見直す				
4 シニアの技術・経験を生かす	実施済み	実施予定	実施予定時期	具体的取組内容
(1) 技能・知識を継承する仕組みを構築する				(左の例を参考に具体的な取組を記入)
例 ・技能伝承計画を策定する ・シニアと若年者が組んで仕事を行う「ペア就労」や研修制度を導入する				
(2) シニアの経験を生かす仕組みを構築する				(左の例を参考に具体的な取組を記入)
例 ・豊富な経験を有するシニア向けの専門職を導入する ・特別な技能を有するシニアに支給する特別手当を導入する				

チェック欄

就業規則の確認  就業規則(10人未満の労働者の改正を要しない場合その他書面の確認

就業規則の確認  就業規則(10人未満の労働者の改正を要しない場合その他書面の確認

求人票等の確認

※制度化が必要(実態では不足) 就業規則(10人未満の労働者の改正を要しない場合その他書面の確認

5 シニアの能力を伸ばす	実施済み	実施予定	実施予定時期	具体的取組内容
(1) シニア向けの研修を行う(シニア限定)				(左の例を参考に具体的な取組を記入)
例				・シニア向けに新技術に関する研修を実施する ・シニア向けにパソコン研修等を実施する
(2) シニアの資格取得をサポートする(シニア限定)				(左の例を参考に具体的な取組を記入)
例				・シニアの資格取得のための費用の一部を企業が負担する ・シニアの資格取得休暇(講座参加、試験受験等)を導入する ・シニアの資格取得を奨励する
(3) シニアの能力を評価する(シニア限定)				(左の例を参考に具体的な取組を記入)
例				・シニア向けの評価制度を構築する
6 福利厚生を充実する	実施済み	実施予定	実施予定時期	具体的取組内容
(1) シニアの健康管理に配慮する				(左の例を参考に具体的な取組を記入)
例				・シニアに対し法定以外の健康診断の受診を奨励する ・インフルエンザワクチン接種費用を負担している ・血圧計の設置などシニアが日常的に手軽に健康チェックができるようにする
(2) シニアのライフステージに合わせた休暇制度の導入や年休取得を奨励する				(左の例を参考に具体的な取組を記入)
例				・シニア向けの孫の出生時休暇を導入する ・シニア向けの孫の入学・卒業時休暇を導入する ・シニアの年休取得を奨励する
(3) シニアの意欲を向上する取組を導入する				(左の例を参考に具体的な取組を記入)
例				・シニアを含めて永年勤続を表彰する ・シニア向けの永年勤続休暇を導入する
(4) シニアの新たな活動を促進する取組を行う				(左の例を参考に具体的な取組を記入)
例				・シニア向けのボランティア休暇を導入する ・シニア向けのボランティア参加助成金を導入する
(5) 定年間近の社員向けライフプランセミナーを実施する				
7 シニアの活躍推進の取組を情報発信する	実施済み	実施予定	実施予定時期	具体的取組内容
(1) シニアの活躍推進の取組を情報発信する				(左の例を参考に具体的な取組を記入)
例				・自社のHP、会社案内などに宣言企業であることを掲載する ・名刺等にシニア活躍推進宣言シンボルマークを印刷する

※大項目5・・・シニア限定対象のみ

※大項目6・・・シニアが含まれる取組が対象

注 実施済み及び実施予定である項目について、「1」を記入してください。

<シニア活躍推進宣言企業の要件等>

- ※ 「1」から「7」の大項目のうち3項目以上を満たすこと。
- なお、各大項目中の小項目1つが実施済み又は実施予定であれば、大項目を満たすものとする。
- ※ 埼玉県HPIに、各宣言企業の取組(小項目まで)を掲載する。(具体的な取組までは記載しない。)

【働きやすい就業環境の整備に向けての行政への要望等】



## シニア活躍推進宣言追跡調査記録票

追跡調査日			アドバイザー氏名		
企業等名				認定番号	
住所	〒				
電話番号			FAX番号		
メールアドレス					
対応者(職・氏名)	職名			氏名	
業種区分・事業内容	業種	事業内容			
従業員数		正規雇用	非正規雇用	計	
	総数				
	60～64歳				
	65～69歳				
	70歳以上				
	60歳以上合計				

## 1 現在の就業規則について

就業規則を作成している	はい	いいえ	(どちらかに○)	(はいの場合)	施行日	
就業規則を労基署に提出している	はい	いいえ	(どちらかに○)	(はいの場合)	提出日	
就業規則上定年を廃止している	はい	いいえ	(どちらかに○)			
	定年がない企業の場合、以下の①及び②に回答を記載してください。					
	①就業規則に「定年廃止」が明記されている			はい	いいえ	
	②就業規則に「定年廃止」について記載がない			はい	いいえ	
	②が「はい」の場合、以下のア及びイに回答を記載してください。					
	ア 定年がないことについて社内で合意されている			はい	いいえ	
イ 定年について決めていない			はい	いいえ		
就業規則の定年年齢						
就業規則の継続雇用上限年齢 (希望者全員)	制度あり	制度なし	(どちらかに○)	(ある場合)	歳	
就業規則の継続雇用上限年齢 (基準該当者のみ)	制度あり	制度なし	(どちらかに○)	(ある場合)	歳	

※該当するものに「1」を入力してください。

※①については、認定時実施済みだったものに「1」、

実施予定だったものに「2」を入れてください。

※②③④については、そのようにした(なった)理由を必ず聞き出し、記入してください。

I シニア活躍推進宣言 取組事項の実施状況について

大項目1の就業規則の確認

1 シニアの定年や継続雇用の制度を見直す	①認定時の状況	②予定を実施	③予定外の取組を実施	④予定のまま	④の場合実施時期	⑤予定を削除	具体的内容・理由 ・なぜ予定外の取組を実施したのか ・なぜ予定のままなのか ・なぜ予定を削除するのか
(1) 定年・継続雇用の年齢を延長、定年を廃止する							
・定年を延長する(66歳以上)	変更前	歳	⇒	変更後	歳		
・継続雇用の年齢上限を延長する(66歳以上)	希望者全員	変更前	歳	⇒	変更後	歳	
	基準該当者のみ	変更前	歳	⇒	変更後	歳	
・定年を廃止する	変更前	歳	⇒	変更後	歳		
(2) 継続雇用や賞金の基準を明確化する							
2 シニアの雇用、働く場所・機会を増やす	①認定時の状況	②予定を実施	③予定外の取組を実施	④予定のまま	④の場合実施時期	⑤予定を削除	具体的内容・理由 ・なぜ予定外の取組を実施したのか ・なぜ予定のままなのか ・なぜ予定を削除するのか
(1) シニア向けの仕事を新たに作る							
(2) シニア限定の求人募集により新たにシニアを雇用する							
(3) シニアの働きやすい事業分野へ進出する							
3 シニアが安心して働ける環境を整える	①認定時の状況	②予定を実施	③予定外の取組を実施	④予定のまま	④の場合実施時期	⑤予定を削除	具体的内容・理由 ・なぜ予定外の取組を実施したのか ・なぜ予定のままなのか ・なぜ予定を削除するのか
(1) シニアの特性に配慮した勤務形態を導入する							
(2) シニアの特性に配慮したシフトの導入、部署配置を行う							
(3) シニアの負担を軽減する機械設備の導入・改善、作業方法、作業環境の改善等を行う							
4 シニアの技術・経験を生かす	①認定時の状況	②予定を実施	③予定外の取組を実施	④予定のまま	④の場合実施時期	⑤予定を削除	具体的内容・理由 ・なぜ予定外の取組を実施したのか ・なぜ予定のままなのか ・なぜ予定を削除するのか
(1) 技能・知識を継承する仕組みを構築する							
(2) シニアの経験を生かす仕組みを構築する							
5 シニアの能力を伸ばす	①認定時の状況	②予定を実施	③予定外の取組を実施	④予定のまま	④の場合実施時期	⑤予定を削除	具体的内容・理由 ・なぜ予定外の取組を実施したのか ・なぜ予定のままなのか ・なぜ予定を削除するのか
(1) シニア向けの研修を行う							
(2) シニアの資格取得をサポートする							
(3) シニアの能力を評価する							
6 福利厚生を充実する	①認定時の状況	②予定を実施	③予定外の取組を実施	④予定のまま	④の場合実施時期	⑤予定を削除	具体的内容・理由 ・なぜ予定外の取組を実施したのか ・なぜ予定のままなのか ・なぜ予定を削除するのか
(1) シニアの健康管理に配慮する							
(2) シニアのライフステージに合わせた休暇制度の導入や年休取得を勧奨する							
(3) シニアの意欲を向上する取組を導入する							
(4) シニアの新たな活動を促進する取組を行う							
(5) 定年間近の社員向けライフプランセミナーを実施する							
7 シニアの活躍推進の取組を情報発信する	①認定時の状況	②予定を実施	③予定外の取組を実施	④予定のまま	④の場合実施時期	⑤予定を削除	具体的内容・理由 ・なぜ予定外の取組を実施したのか ・なぜ予定のままなのか ・なぜ予定を削除するのか
(1) シニアの活躍推進の取組を情報発信する							

様式1-④

### シニア活躍推進宣言企業 アンケート調査票

(企業名)
(担当者名)
(連絡先)

宣言企業認定番号
----------

#### I シニアの活躍推進の効果について

1 シニアの活用を進めることで、企業経営に効果があったと思いますか。(いずれかに「1」。)

あった	
なかった	

2 上記1で「ある」とお答えの場合、どのような効果ですか。(該当するものに「1」。複数回答可。)

① 人材が確保しやすくなる(人手不足の解消)	
② 長く働けることで従業員の定着率が向上	
③ 従業員のモチベーションの向上	
④ 次世代への技能・知識の伝承が進む	
⑤ シニアの有する経験や技能による技術力の向上	
⑥ 企業のイメージ向上	
⑦ その他(右欄に自由記述)	

#### II 宣言以降、新たに雇用したシニア(60歳以上、パート等含む)はいますか。(いずれかに「1」。)

いる		いる場合	<input type="text"/>	人
いない				

#### III 今後も引き続き、シニアの働きやすい環境づくりに取り組もうと考えていますか。(いずれかに「1」。)

いる	
いない	
(答えに関わらず)そう考えた理由(右欄に記述)	
(いる場合)具体的な取組(右欄に記述)	

そう考えた理由は必ず記入してください。

#### IV シニア活躍を進めるため行政に期待することは何ですか。

(自由記述)(右欄に記述)	
① 定年、継続雇用年齢の引上げに対する助成金	
② シニアを新たに雇用することに対する助成金	
③ シニア採用のための広告費用への補助	
④ 高齢者向け設備(手すり等)整備への補助	
⑤ 高齢者の健康診断等に対する補助	
⑥ 企業面接会などのマッチングの場の設定	
⑦ 経験やスキルを持った人材の紹介	
⑧ シニア活躍の好事例の情報提供	
⑨ 従業員向け各種スキルアップ講座の実施	
⑩ その他(内容は上記自由記述を参照)	

選択肢を提示せず、単純に質問して聞き取って記入ください。  
聞き取った内容が①～⑦に該当していれば該当箇所に「1」を、  
該当箇所がなければ⑩に「1」を入力してください。  
(全ての該当箇所を選択)

#### V 専門家派遣について

(1) 高齢者雇用安定法の改正に対応した就業規則への変更を行うにあたり課題を抱える企業に、県では社会保険労務士を無料で派遣しています。社会保険労務士の派遣に関心はありますか。(いずれかに1)

関心がある	
関心がない	

(2) シニアの活躍を進める際の業務改善など、(1)以外の課題を抱える企業に、県では専門家(中小企業診断士など)を無料で派遣しています。専門家の派遣に関心はありますか。(いずれかに1)

関心がある		関心がある場合、その内容	<input type="text"/>
関心がない			

御協力ありがとうございました。

## 専門家派遣申請書

企業名		代表者氏名	
所在地		電話 FAX	
事業内容		E-mail	
従業員数		初回の派遣 希望時期	
テーマ (当てはまる欄に ○を記載。)	・人材確保(優秀なシニア人材を確保したい)		
	・人材定着(社員に長く働いてもらいたい)		
	・技能伝承(シニアの技術を伝承する仕組みを作りたい)		
	・就労環境の整備(重労働の負担を軽減し、長く働けるようにしたい)		
	・経営改善(経営改善してシニアの雇用を増やしたい)		
	・その他( )		
課題を詳細に 記載してください			
担当者 職・氏名		担当者 連絡先	

過去二年以内に専門家派遣を受けている	
(受けている場合、年度とテーマ・アドバイス内容を記載)	

### ※事務局記入欄

専門家氏名		資格	
宣言企業 認定番号			

## 専門家派遣結果報告書(1回目・2回目)

実施年月日	年 月 日
アドバイザー名	
企業側立会者	

## 1 企業の概要

企業名		代表者氏名	
所在地		電話 FAX	
事業内容		E-mail	
従業員数		宣言企業 認定番号	

## 2 課題

※当初の課題から変更や追加があった場合には、その旨が分かるように記載してください。
---

## 3 アドバイス事項

---